

あ
ら
お

みんなで築く
「心配なし あらお」

社協力たこよし

1月号もくじ

- P.2 新年のごあいさつ
【特集】
荒尾市地域福祉プラットフォームの取り組み
【連載】
荒尾市社会福祉協議会のご紹介
- P.3 【寄付のお礼】
香典返し寄付
フードバンク事業
荒尾市社会福祉協議会 会員会費ご協力のお願い
- P.4 【福祉かわらばん】



歳末たすけあい事業は、赤い羽根共同募金を活用して歳末に行われる地域活動です。今年度は38の地域がちつきや門松づくり、ひとり暮らし高齢者宅の清掃支援、子どもたちから高齢者へ手作り年賀状の送付など、歳末にちなんだ地域活動に取り組みました。

令和6年
1月
No.233



【発行者】社会福祉法人荒尾市社会福祉協議会

〒864-0011 熊本県荒尾市下井手193番地1
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994
Eメール araoshisyakyo@crux.ocn.ne.jp

荒尾市社協 HP <http://arao-shakyo.com/>



新年のごあいさつ



社会福祉法人
荒尾市社会福祉協議会
会長 丸山 秀人



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますと共に、日頃から本会の事業推進に対してご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、地域活動が活発化し、コロナ禍以前の姿を取り戻しつつあります。本会では昨年に引き続き、地区座談会や集いの場づくりを通じて住民主体のコミュニティの形成や介護予防活動がなされるよう取り組んで参ります。

また、「第4期荒尾市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の重点取組である「荒尾市地域福祉プラットフォーム」につきましては、令和5年度4月から法人内にプロジェクトチームを発足し、試験的取り組みを実施しながら、参加団体の呼びかけを行っています。今後は様々な団体の参画を得ながら、重層的支援体制の構築や新たな社会資源の創出等を通じて、分野横断的に複雑化した地域の福祉課題の解決を目指して参ります。

結びとしまして、この一年が皆様にとりまして健康で幸せな年となりますよう、心より祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。

特集 荒尾市地域福祉プラットフォームの取り組み



荒尾市地域福祉プラットフォームは、複雑・複合化した地域の福祉課題の解決を目指して、地域住民、ボランティア、医療福祉関係者、民間企業、NPO団体、民生委員児童委員、行政、社協などと、それぞれの立場や制度を超えて連携し、分野横断的に課題解決にあたる「協働の土台」です。

複数の団体のご協力を得ながら、生活困窮する高齢者宅



▲昨年は様々な団体のご協力を得て、生活に困窮する高齢者宅の家屋清掃を実現しました。

の家屋清掃や子育て相談などの取り組みを進めています。

荒尾市社協では、個人やひとつの団体だけでは解決が困難な課題や、世代や制度あるいは分野を超えて対応しなければならない課題などを、荒尾市の皆さんと協働して解決にあたる「地域連携」の体制づくりを行ってまいります。



連載

荒尾市社会福祉協議会のご紹介



Shinpanashi
荒尾市社協の
イメージキャラクター
「しんぱないし」です。

管理課⑤荒尾市潮湯

荒尾市潮湯は、60歳以上の者が利用できる潮水（海水）を加温して入浴できる温浴施設です。健康の維持や増進を目的として年間3万人の方が利用しておられ、高齢者のふれあい交流拠点となっています。

- 開館時間：月曜～土曜 午前9時30分～午後4時
- 休館日：日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 利用料：市内在住者110円、市外在住者220円



[場所] 〒864-0041 熊本県荒尾市荒尾379番地
[お問い合わせ] TEL 0968-62-1610 FAX 0968-66-2994

香典返し寄付のお礼

※香典返し寄付は、荒尾市社会福祉協議会と荒尾市福祉課にて受付けています。

次のとおり、金一封を社会福祉事業にお寄せいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りします。

(受付順・敬称略)

10月受付分

寄付者名	寄付者住所 (行政区)	続柄	物故者名	年齢
中田 静代	新町	亡夫	中田 達美	76
武藤 悅男	古庄原	亡妻	武藤 恵子	74
田中 憲士	東屋形三丁目	亡父	田中 稔	86
寺嶋 博明	川後田	亡妻	寺嶋 梯子	80
井上 都美子	古庄原	亡母	江藤 オミオ	109
黒坂 保洋	大島下	亡妻	黒坂 孝子	82
本村 征濠	高浜	亡母	櫻井 愛子	97
関屋 修治	大和	亡父	関屋 倫次	89
佐藤 信尋	緑ヶ丘四丁目	亡母	佐藤 夕マエ	94
磯田 富雄	新生西	亡妻	磯田 春美	77
崎坂 純昭	北増永	亡妻	崎坂 當子	85
武田 任博	中央北	亡母	武田 京子	94
岡野 謙吾	新生西	亡母	岡野 スマ子	96
野方 由美	普源寺	亡父	西田 真直	78
坂口 直行	高浜	亡妻	坂口 敏子	88
高椋 博	境崎中	亡妻	高椋 幸子	82
佐藤 玲子	緑ヶ丘四丁目	亡夫	佐藤 信尋	68
山下 富彦	今寺	亡妻	山下 律子	74
鷹尾 さとみ	福岡県柳川市	亡父	松尾 武則	90
土居 和子	万田中	亡夫	土居 勝	80
福山 梅子	新生西	亡夫	福山 満	83
原田 邦浩	高浜	亡妻	原田 禮子	80
前嶋 悅子	宮内出目東	亡夫	前嶋 義孝	91
林 貞子	昭和町	亡夫	林 秀生	69
竹下 弘子	打越	亡夫	竹下 之俊	87
田中 宏幸	福岡県大野城市	亡父	田中 清	69

一般寄付のお礼

次の方から社会福祉事業に役立ててほしいと心温まる寄付をいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。



▲大牟田柳川信用金庫様(左)より一般寄付受領の様子

大牟田柳川信用金庫様
トライムボランティア連合様
(順不同)

フードバンク事業にご寄付いただきました

次の方からフードバンク事業に食料を寄付いただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

長谷川 文代様

ゆめタウンシティモール様 (順不同)

※社協では引き続きご家庭や職場で不要となった食品の寄付をお願いしています。いただいた食材は子ども食堂や児童養護施設、生活困窮者に提供させていただきます。

[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 相談係
TEL 0968-79-7018 FAX 0968-66-2994

荒尾市社会福祉協議会 会員会費ご協力のお願い

荒尾市社会福祉協議会(社協)の目的や事業等の趣旨に賛同し、社協活動を支援していただく個人や団体、企業・事業所等を会員として募集しています。

会員として、皆様からいただいた会費は、社協活動を推進するための重要な財源として活用させていただきます。地域福祉活動に参加する一つの方法として、社協活動にご理解いただき、会員加入(会費納入)にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

<社協会費を財源として実施する事業>

- 子ども食堂や子育てサロン、高齢者いきいきサロン等のささえあい活動推進地区の運営資金
- ささえあい活動交流会の開催に伴う会場借上げ、消耗器具等の費用
- 地区協議会地域福祉部会が行う地域福祉活動の運営資金など

会員種別	会費額(年額)	対象
一般会員	500円	住民世帯
賛助会員	1口 1,000円	賛同される個人等
特別会員	1口 10,000円	団体、企業・事業所等

[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 総務係 TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994



お知らせとご報告

福祉かわらばん

荒尾のまちの福祉
トピックスをお伝えします！

ご報告

荒尾支援学校高等部が地域住民や万田小の児童と荒尾駅前の清掃活動を行いました。

11月15日(水)に荒尾支援学校高等部が、地域住民や万田小の児童と荒尾駅前の清掃活動を行いました。この取り組みは、荒尾支援学校高等部が今年度取り組んでいる「地域貢献プロジェクト」の一環として、地域住民が万田小の児童と実施している荒尾駅前の清掃活動とコラボした取り組みです。

参加した支援学校の学生からは「色々な人たちと関わってうれしかった」という声や、地域住民からは「たくさんの若者に参加してもらつたおかげで賑わった」といった声が聞かれました。荒尾市社協では今後も荒尾支援学校高等部の地域貢献プロジェクトを支援してまいります。



▲地域住民に教わりながら、花壇を整えました



▲当日参加した支援学校、万田小、地域住民の皆さん

お知らせ

健康づくりの第一歩!! 貯筋体操に参加しませんか?

貯筋体操は、柔軟性の向上や転倒予防を目的とした椅子に座ってできる体操です。現在、小岱工芸館で実施する教室では参加者を募集しています。初心者も大歓迎ですので、まずは体験参加してみませんか?

日 時 毎週火曜日午前10時~11時半

場 所 地域交流支援館 小岱工芸館

対象者 おおむね65歳以上

内 容 ストレッチ、筋力トレーニング、リズム体操等

参 加 費 月1,000円

持 参 物 水分補給の飲み物、タオル、動きやすい服装



▲広々とした空間で心も体もリフレッシュしませんか?

[お問い合わせ] 荒尾市社会福祉協議会 地域福祉係 担当:大佐古
TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

ご報告

九州看護福祉大学の学生が市内の高齢者に向けてLINE講座を開催しました!

11月から12月にかけて、荒尾市総合福祉センターで九州看護福祉大学の学生が市内在住の高齢者に向けてLINE講座を開催しました。この講座は九州看護福祉大学の学生が「地域貢献」を目的に企画し、荒尾市社協がコーディネートしたもので、全4回の日程でLINEのトークや通話、写真や動画の送り方を伝えました。受講した高齢者からは「学生さんが丁寧に教えてくれてうれしかった」「LINEのことがよく分かった」という声や、講師を務めた学生からは「コロナ禍で地域に出ることが出来なかつたけど、やつと地域住民のお役に立つことができてうれしかつた」といった声が聞かれました。



▲九看大生がLINEの使い方を丁寧に伝えました。

LINEはLINE株式会社の商標または登録商標です。

ご報告

あらお防災人の会が令和5年防災功労者 内閣総理大臣表彰を受彰しました!

11月1日(水)にあらお防災人の会(代表:甲木喜一朗さん)が荒尾市社協を訪問し、令和5年防災功労者 内閣総理大臣表彰を受けたことを報告されました。この表彰は、災害現場における防災活動の実施や、普段の防災活動で貢献された団体又は個人を対象として、内閣総理大臣より表彰されるものです。

あらお防災人の会は、令和2年7月豪雨災害時の荒尾市災害ボランティアセンターへの多大な貢献が認められ、今回の受彰となりました。このたびの受彰、誠におめでとうございます!



この社協だよりは、赤い羽根共同募金により発行しています。

あらお社協だより 2024.1.1 4